

変形労働制ではなく、せんせいふやそう!

# 止めよう! 変形労働制 9

「止めよう! 変形労働制」ニュース No. 9

全北海道教職員組合

2019.11.1

## 「給特法の一部を改正する法律案」 衆議院文部科学委員会で提案に至らず

### ●10月30日 衆議院文部科学委員会

10月30日に衆議院文部科学委員会が開催されましたが、萩生田文科大臣の「身の丈」発言をめぐって紛糾したこともあり、「給特法の一部を改正する法律案」の提案には至りませんでした。

大学入試改革（高大接続改革）についての延期が表明され、今後の委員会審議の状況は流動的ではありますが、萩生田大臣への問責など、野党間で、本会議も含めて様々な動きが模索されているようです。

こうしたこともあり、「1年単位の変形労働時間制」を導入できる法案について、「早ければ、31日にもこの法案が本会議入りするかもしれないと言われていたもとの、審議入りが予定より若干後に延ばされる見込みができています」との見方も示されていますが、政府は今国会での成立を諦めているものではありません。

異常な長時間労働の解消には、変形労働導入ではなく、仕事を減らし人を増やすことこそ必要だと各地で声を上げ、法案成立を許さない世論を広げていくことが重要です。



### ●全教が、委員会傍聴など 10・30国会行動

全教は10月30日、公立学校に「1年単位の変形労働時間制」を導入できる法案をなんとしても廃案にしようと国会前行動を行い、文部科学委員会への傍聴行動や請願署名の紹介議員となることに快諾いただいた衆参両院議員30名に署名を届けるなどしました。

また、昼には国民大運動の定例国会前行動において、檀原全教書記長が決意表明しました。

全教・教組共闘連絡会・全労連は、国会行動の終了後、衆議院第二議員会館前で意思統一集会を開催しました。この行動には、全教の関東甲越ブロックの参加者と労働組合や市民団体など含め、およそ30名が参加しました。

11月6日・7日におこなわれる中央行動には、道教組から遠藤書記次長（宗谷教組書記長）が参加します。



右のQRコードから、あなたの声をお寄せください。

